

保管転換も原則としては保管換の場合に準じ、保転票および物品送付書によって処理するのであるが、保管換の場合は同一物品出納役内という狭い範囲を対象としていること、したがってその所管内の物品は鉄道管理局等の主管箇所長（たとえば調度用品の場合は調度課長等）が在庫量、予算その他の事項を勘案して1元的に運用していること、現場その他の手数を軽減すること、なるべくまちがいの生じないようにすること等の事由により保転票と物品送付書を統合し、両者の性格を備えた物品保管換命令書により処理することができることにしている。

物品保管換命令書は甲（発行箇所控）乙（保管換通知書→払出命令書兼領収書）丙（払出命令書→保管換終了報告書）丁（送付書）の4片からなり、主管箇所が発行し、関係箇所長に保管換を指示するものである。

物品出納役または物品出納員から他の物品出納役または物品出納員に物品を送付した場合は、現品および送付書類が受領者に到着したときをもって、保管責任の帰属を区分するのである。したがって保管転換または保管換の途中において事故があった場合（**保転事故**）は、原則として発側の責任となるのである。

保管転換を受けた貯蔵品に未着の事故があった場合は、受側物品出納役において実情を調査のうえ、いったん自箇所の貯蔵品に受入れ、発送元に事故の内容を通知するとともに輸送機関の事故証明書があるものについては、事故部分を発側に逆保転して発側でその処理をし、その他の場合は自箇所ですぐに亡失の手続をするのである。また保管転換を受けた貯蔵品に損傷の事故があった場合は、受側物品出納役において、いったん受入れ、事故証明書の有無にかかわらず自箇所において損傷の手続をするのである。

すなわち亡失事故のうち輸送機関の事故証明書がある場合は、輸送中の事故であること（発側の責任であること）が明確であること、および亡失（数量不足）の原因が真に亡失であるか、または発側の積

残しによるものであるか不明確であることにより、発側に逆保転して処理することになっているのであるが、輸送機関の事故証明書が得られない場合は、到着前の事故かあるいは着後の事故か不明確であるため受側で処理することにしており、また損傷の場合は、損傷の責任が発側にあるとしても、損傷した現品をわざわざ発側に送付して事故処理をする必要は認められないので、この場合はその責任がいずれにあるかにかかわらず、例外的に受側で損傷手続をすることになっているのである。

つぎに保管転換または保管換を受けた予備品および決算品に未着または損傷の事故があった場合は、受側の物品出納役または物品出納員において事故の内容を調査するとともに、貯蔵品の保管に準じて事故の処理をするのである。

保管転換または保管換には通常輸送を伴なうものであるが、その輸送に要する経費（**保転経費**）は発側の荷造り・小運搬・積込みその他の発送付帯経費・輸送機関の運賃、受側の取卸し・小運搬その他の到着付帯経費の3種に大別されるが、これは保管転換または保管換の目的に応じて、負担経費科目および負担箇所を鉄道物品事務規程等により個別に定めているのである。

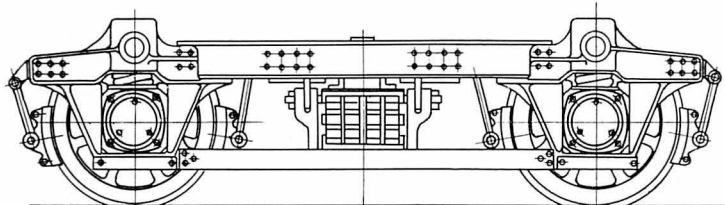
（市原高之）

ほき 補機（英）pusher 補助機関車のことで、列車を牽引（けんいん）する車両の両数を増加するために、本務機関車のほかに使用する機関車をいう。補助機関車は列車の前部で、本務機関車の次位に連結されるのが普通であるが、本務機関車の前位に連結することもある。また標準勾配（こうばい）が $\frac{10}{1000}$ より急な勾配のある区間を運転するとき、列車に故障を生じたとき、橋梁（きょうりょう）等の強度の関係で機関車を2両以上連続して連結することのできないとき、あるいは特別の事由のあるときは列車の後部、列車の中部に連結されることがある。

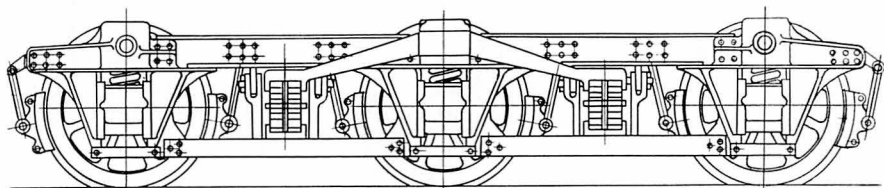
（藤田 一）

ボギー（英）bogie 心皿を中心にして車体に対して回転（旋回）することができるようにした台車の名称である。ボギーは心皿において車体の重量をささえ、これを各車輪上に分布すると同時にそのばね装置、およびつり装置により垂直・水平両方向の衝撃を緩和して走行を円滑にし乗心地を良くする。車軸数によって2軸ボギー、3軸ボギー等の種類があるが、2軸ボギーが普通で3軸ボギーは寝台車、食堂車などくに動揺が少ないのを望むものに使用されるが、近頃は2軸ボギーの性能のよいも

1. 2 軸 ボ ギ ー



2. 3 軸 ボ ギ ー



のができるので3軸ボギーはあまり用いられない。

台車にボギーを用いた車両をボギー車とよぶ。客車、電車等はボギー車にするで車体を大形にできるのみならず高速度運転が2軸車、3軸車に比してはるかに円滑にかつ安全になるので、近頃はほとんどすべてボギー車である。大形貨車、蒸気機関車の炭水車等もボギー車が多い。

ボギーの構造には種々あるが、ばね装置で大別すると、つり合ばりを使用する方式と、つり合ばりを使用せずにボギーにわくと軸箱との間に直接軸ばねを装置する方式とがある。またつり装置はゆれ枕式のものが普通であるが、貨車あるいは炭水車等のボギーは簡易化して固定枕式としたものが多い。

図は2軸ボギー、3軸ボギーの各1形式を示す。（内村守男）

ほくさつせん 北薩線 鹿児島市から不知火海岸米ノ津町に至る国鉄自動車路線であって、所管する自動車営業所は鹿児島市柳木町（鹿児島）に、同支所は宮之城（鹿児島県薩摩郡宮之城町）、国分（鹿児島県姶良郡国分町）、垂水（鹿児島県肝属郡垂水町）、加治木（鹿児島県姶良郡加治木町）にある。

1 区間およびキロ程